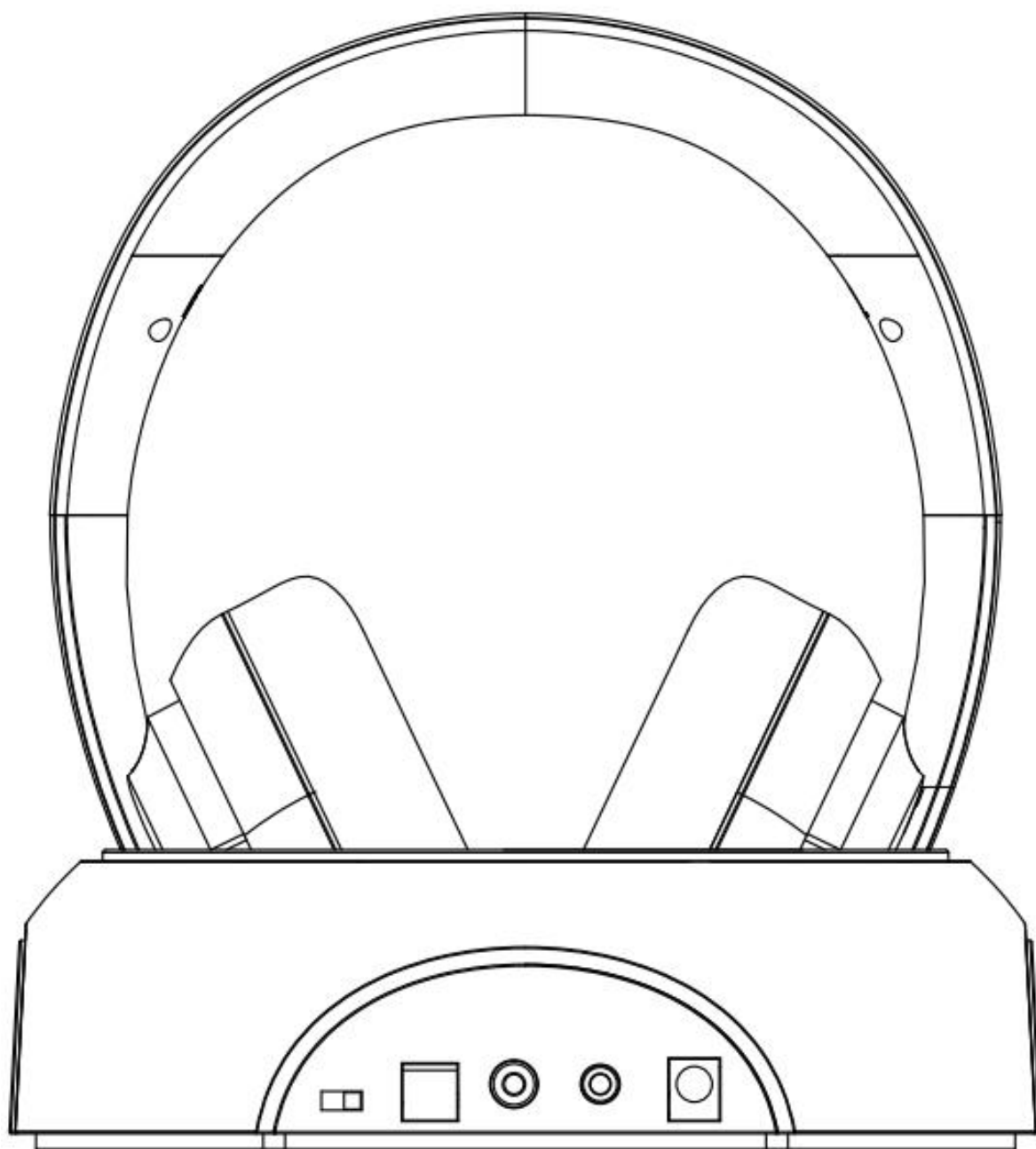


RETEKESS

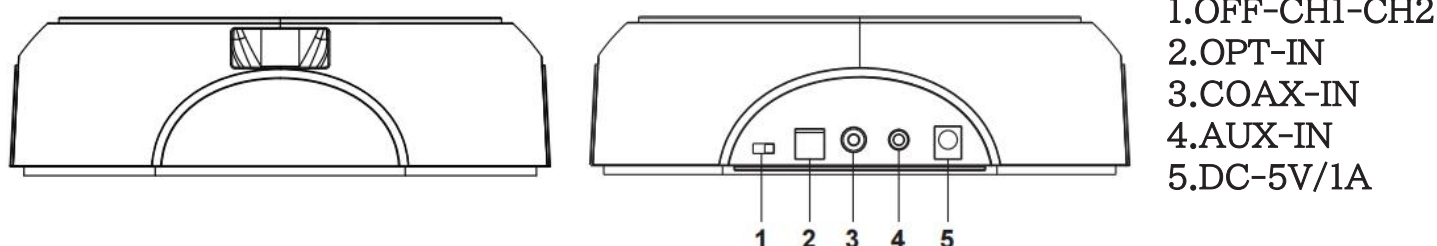


TV ワイヤレス ヘッドフォン
TA006 取扱説明書

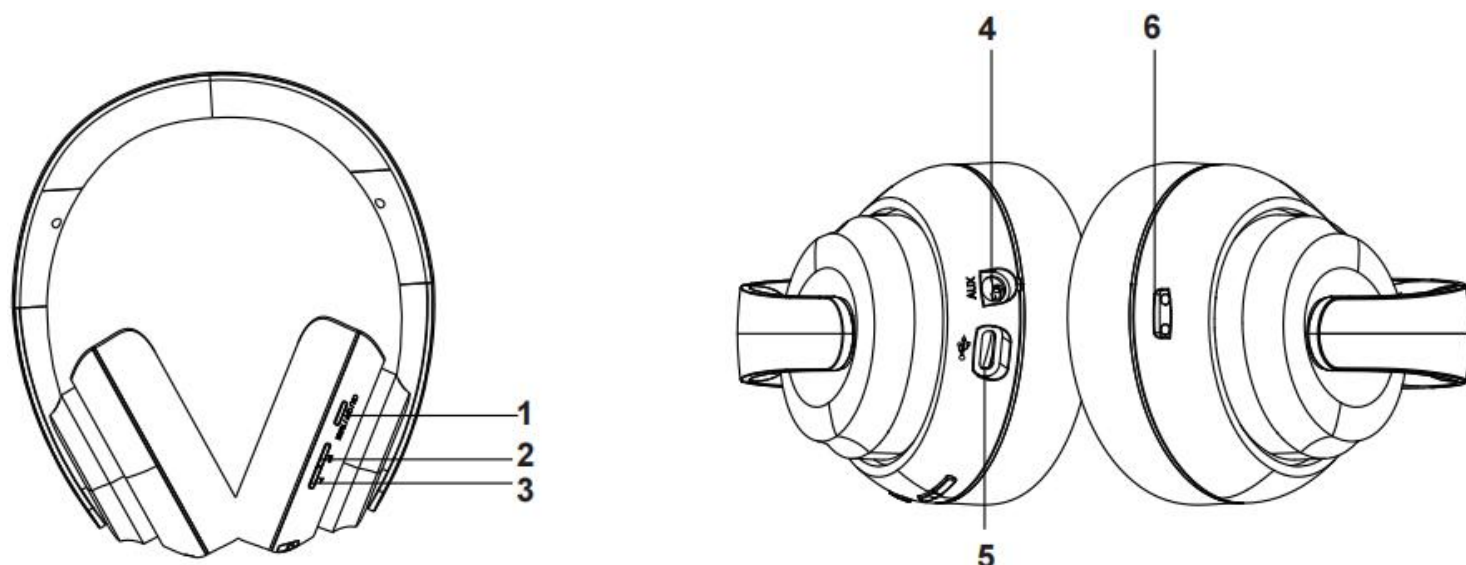
特徴

- 最新のスマートテレビを含むすべてのテレビで動作します。
- 他の人に迷惑をかけずにテレビを見る。
- セットアップ、充電、使用が簡単。
- フル充電で最大 10 時間動作します。
- ワイヤレス範囲: 30m
- 音量調節可能
- 有線ヘッドホンとしても使用可能。
- すべての接続ケーブルが付属しています。
- 1つの送信機を複数のヘッドフォンに接続できます。
- 送信機の電源をオンにし、ヘッドフォンを送信機ドックに置くと、ヘッドフォンが自動的に充電されます。ヘッドフォンが完全に充電されたら、ヘッドフォンを送信機ドックから取り出すと、ヘッドフォンが自動的にオンになり、5 秒以内に接続されます。
- 1分以内に信号が検出されない場合、ヘッドフォンは自動的にオフになります。

送信機ドック



テレビワイヤレスヘッドフォン



1. オン/オフ/チューニング
2. 音量+ボタン
3. 音量-ボタン

4. 3.5mm オーディオジャック
5. USB-C 充電ポート
6. 充電ポート

設定

1. 付属の AC アダプターを送信機ドックの DC 5V ジャックに差し込みます。次に、もう一方の端を AC コンセントに差し込みます。
2. 送信機ドックの背面にある OFF-CH1-CH2 スイッチを CH1 または CH2 の位置にスライドします。
3. 送信ドックの電源がオンになると、LCD 画面が点灯し、「PWR」と表示されます。

ヘッドフォンの充電

1. 上記のように送信機ドックが接続され、電源がオンになっていることを確認してください
2. ヘッドフォンを送信機のドックに正しく配置してから充電を開始します。
3. ヘッドフォンが充電中の場合、送信機ドックの LCD 画面が点灯し、バッテリー アイコンとヘッドフォンのバッテリー レベル（バッテリーのパーセンテージ）が表示されます。

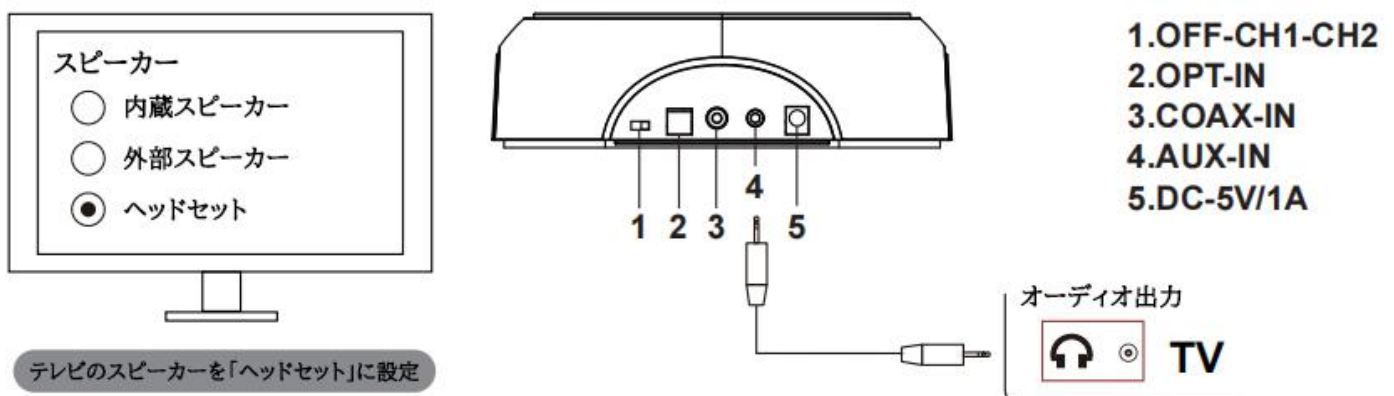
テレビに接続

- 1.送信機は 4 つの方法でテレビに接続できます。

方法 1: テレビにヘッドホンジャックがある

ヘッドフォン ジャックは、送信機の背面にある 3.5 mm オーディオ IN ソケットに対応しており、1.5 m の 3.5 mm オーディオ ケーブルをこのソケットにしっかりと接続します。

次に、3.5mm オーディオ ケーブルのもう一方の端をテレビのヘッドフォン ジャックに接続します。



これで、ヘッドフォンから音が聞こえるようになります。音が出ない場合は、テレビのスピーカーが「ヘッドセット」に設定されていることを確認してください。

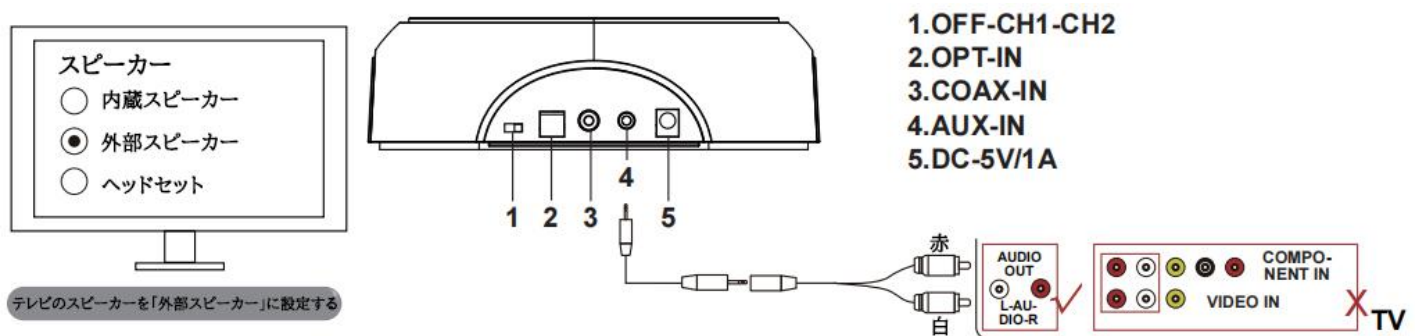
方法 2: RCA 赤白オーディオ出力経由で接続する

RCA 3.5mm アダプタ ケーブルをテレビの RCA オーディオ出力ジャックに接続してください。

次に、3.5mm ケーブルを RCA アダプタ ケーブルに接続し、3.5mm ケーブルのもう一方の端を送信機のオーディオ IN ジャックに差し込みます。

上記を実行すると、ヘッドフォンから音が聞こえるようになります。聞こえない場合は、次の手順に従ってください。

- a. 必ずテレビの「オーディオ出力」とマークされた赤/白のポートを使用してください。
- b. テレビのスピーカーが「外部スピーカー」に設定されていることを確認してください。



方法 3: テレビの光出力を使用する

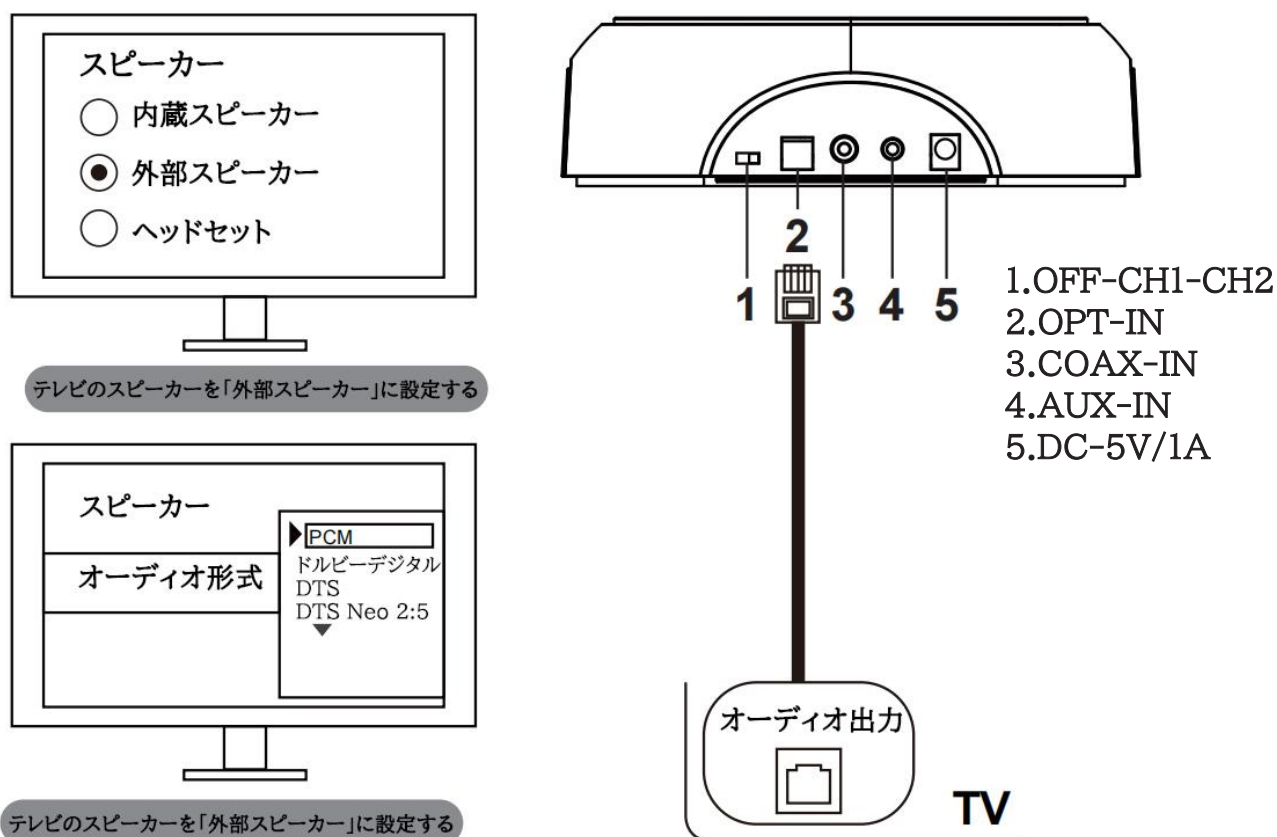
付属の光ケーブルをテレビの対応するジャックに差し込みます。

次に、もう一方の端を送信機の光ファイバー入力に接続します。

ヘッドフォンから音が聞こえるようになりましたが、聞こえない場合は次の手順に従ってください。

- a. テレビのスピーカーが「外部スピーカー」に設定されていることを確認してください。
- b. テレビのオーディオフォーマットが「PCM」に設定されているか、「Dolby/DTS」をオフにしてください(これは非常に重要です)
- c. オーディオ ソースのサンプリング レートが 16 ビット / 48KHz を超えないようにしてください。

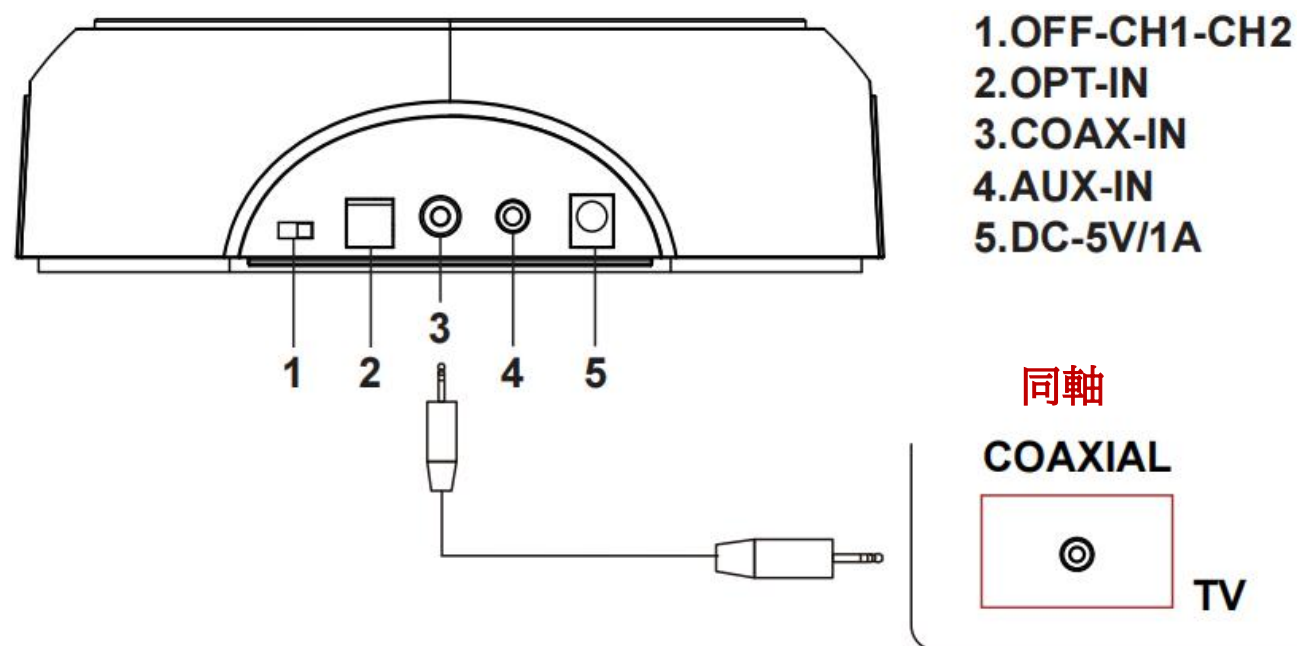
注：光出力を使用する場合は、3.5 mm AUX ジャックに接続されているデバイスをすべて取り外してください。



方法 4: テレビの同軸インターフェースを介して接続する

付属の 1M 同軸アダプタ ケーブルをテレビの COAXIAL ジャックに接続してください。次に、ケーブルのもう一方の端を送信機の COAXIAL ジャックに差し込みます。

音が出ない場合は、解決策 3 のプロンプト チェックを参照してください。



2. 送信機ドックとテレビを適切に接続する方法を選択したら、送信機ドックとテレビの電源をオンにします。

注意：テレビがミュートされていないことを確認してください。

- ・ 送信機ドックが AUX-IN ジャック経由で動作している場合、送信機ドックの LCD 画面が点灯し、「LINE」と表示されます。
- ・ 送信機ドックが OPT-IN ジャックまたは COAX-IN ジャック経由で動作している場合、送信機ドックの LCD 画面が点灯し、「COAX/OPT」と表示されます。

テレビワイヤレスヘッドフォンの使用

ヘッドフォンがトランスミッタードックに収納され充電されているときにヘッドフォンを取り出すと、ヘッドフォンは自動的にオンになり、5 秒以内に接続されます。

必要に応じて、ON/OFF/TUNE ボタンを 3 秒間押し続けてヘッドフォンのオン/オフを切り替えることができます。

ヘッドホンに装着します。ヘッドバンドの長さを調整します。ヘッドホンの「V+」と「V-」で音量を調整します。これでヘッドホンでテレビを楽しむことができます。

注記：干渉が発生した場合は、送信機ドックの OFF-CH1-CH2 ボタンをスライドして 2 つの利用可能な周波数から選択し、ON/OFF/TUNE ボタンを押してヘッドフォンを接続することができます。

各送信機は、同じチャンネルの複数のヘッドフォンに同時に接続できます。

自動シャットオフ

バッテリーを保護するため、バッテリーの電力が 3.2V を下回ると、アラームが鳴り、TV ワイヤレス ヘッドフォンが自動的にオフになります。その場合は、ヘッドフォンを充電ドックに戻して充電してください。

有線ヘッドフォンの使用

・TV ワイヤレスヘッドフォンは、屋外や飛行機内で有線ヘッドフォンとしても使用できます。(スマートフォン、タブレット、ラップトップ、MP3 プレーヤーなどと一緒に)

・付属の 3.5mm オーディオ ケーブルをヘッドフォンの AUX ジャックに接続します。もう一方の端をモバイル デバイスに差し込みます。

・このモードでは、音量+ボタンと音量-ボタンを押して音量を調整することはできません。

仕様

送信機		ヘッドフォン	
電圧	DC 5V	リチウムイオン電池	3.7V 600 mAh 重さ:11.6g モデル:603035; 使用可能な消火剤;水、泡
仕事現在	80mA		
マデュレイト	50Khz	仕事現在	55mA
モード	ステレオ	動作時間	10 時間
動作範囲	100 フィート (30 メートル)	充電時間	5 時間
RF Power	4dBm±1.5dBm	S/N 比率	≥60dB
TX/RX 周波数範囲	EU: 863-865 MHz; US: 902-928 MHz MHz;	ねじれ	<1%
		周波数応答	60 - 15,000Hz

FAQ / トラブルシューティング

ヘッドホンから音が聞こえないのはなぜですか？

- ・ ヘッドフォンが送信機と同じチャンネルにチューニングされていることを確認してください。

- ・ 音量レベルを再確認する

音楽ソース;

送信機に接続された音響機器。

ヘッドフォン;

- ・ 音楽ソースからオーディオ入力への接続を再確認してください。
- ・ 送信機の電源がオンになっているか、ヘッドフォンのバッテリーが完全に充電されているかを確認してください。

送信機とヘッドフォンは同時にいくつ動作できますか？

- ・ 最大 2 つの独立した送信機が同時に動作できます。
- ・ 1 つのエリアに置けるヘッドフォンの数に制限はありません。

追加のヘッドフォンを追加するたのペアリングプロセスはありますか？

- ・ いいえ、ヘッドフォンある ON/OFF/TUNE ボタンで適切なチャンネル選択する以外にペアリングのプロセスはありません。

送信機はどのくらいの距離まで届きますか？

- ・ 動作範囲は約 100 フィート(30 メートル)です。

ヘッドフォンの予想されるバッテリー寿命はどれくらいですか？

- ・ ヘッドフォンは約 10 時間連続して動作します。
- ・ 完全に充電するには 5 時間かかります。

RF エネルギー曝露と製品安全ガイド



注意！

この無線機を使用する前に、安全な使用方法と、適用される規格や規制に準拠するための RF エネルギーの認識と制御に関する重要な操作手順が記載されているこのガイドをお読みください。

地方自治体の規制

無線機が雇用の結果として使用される場合、地方自治体の規制では、職業上の要件を満たすために、ユーザーが曝露を十分に認識し、制御できることが求められています。曝露の認識は、特定のユーザー認識情報をユーザーに案内する製品ラベルを使用することで促進できます。Reteless 無線機には、RF 曝露製品ラベルが付いています。また、Reteless ユーザー マニュアルまたは別の安全小冊子には、RF 曝露を制御し、コンプライアンス要件を満たすために必要な情報と操作手順が記載されています。

許可されていない変更および調整

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、地方自治体の無線管理部門によってこの無線を操作するためにユーザーに付与された権限を無効にする可能性があるため、行わないでください。対応する要件に準拠するには、送信機の調整は、それらのサービスのユーザーの代表組織によって認定された、民間の陸上移動および固定サービスで送信機のメンテナンスと修理を行うための技術的資格があると認定された人物によって、またはその監督下でのみ行う必要があります。

この無線の地方自治体の無線管理部門の機器認可によって許可されていない送信機コンポーネント(水晶、半導体など)の交換は、規則に違反する可能性があります。

FCC 要件:

•このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件が適用されます:

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはなりません。
- (2) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる必要があります。

•(該当する場合) この機器は、FCC 規則のパート 15 に従ってテストされ、クラス B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する適切な保護を提供するように設計されています。

この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があります、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合 (機器の電源をオン/オフすることで確認できます)、ユーザーは次の 1 つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします:

- 受信アンテナの方向を変えるか、場所を変えます。
- 機器と受信機の距離を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは別のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

CE 要件:

・(EU 適合宣言書) Henan Eshow Electronic Commerce Co.,Ltd は、無線機器タイプが必須要件およびその他の要件に準拠していることを宣言します。

RED 指令 2014/53/EU、ROHS 指令 2011/65/EU、WEEE 指令 2012/19/EU の関連規定に準拠しています。EU 適合宣言の全文は、次のインターネットアドレスでご覧いただけます:

<https://retekess.jp/>

・廃棄

製品、パンフレット、またはパッケージにバツ印の付いたゴミ箱のシンボルが付いている場合は、欧州連合では、すべての電気および電子製品、電池、蓄電池（充電式電池）は、使用寿命が尽きたら指定の収集場所に持ち込む必要があることをお知らせします。

これらの製品を未分別都市廃棄物として廃棄しないでください。

お住まいの地域の法律に従って廃棄してください。



IC の要件:

免許不要の無線機器

このデバイスには、イノベーションに準拠したライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。

科学と経済開発 カナダのライセンス免除 RSS。操作の対象となるのは、次の 2 つの条件。

(1) このデバイスは干渉を引き起こす可能性はありません。

(2) このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。

このデバイスは、無線デバイスに適用されるカナダ産業省 RSS に準拠していま

す。

免許免除。操作は次の 2 つの条件下で許可されます。

- (1) このデバイスは干渉を引き起こす可能性はありません。
 - (2) デバイスのユーザーは、たとえ受信した干渉を受け入れなければなりません。
- 干渉により動作が損なわれる可能性があります。

RF 警告ステートメント

このデバイスは、一般的な RF 曝露要件を満たすように評価されています。このデバイスは、制限なくポータブル曝露条件で使用できます。

RF 曝露情報（該当する場合）

・適切なアンテナを取り付けずに無線を操作しないでください。無線が損傷する可能性があり、RF 曝露制限を超える可能性もあります。適切なアンテナとは、この無線に付属するメーカー提供のアンテナ、またはこの無線で使用するためにメーカーが特別に承認したアンテナのことです。アンテナ ゲインは、メーカーが宣言した指定ゲインを超えてはなりません。

窒息の危険を避けてください



小さな部品です。3 歳未満のお子様には与えないでください。

聴覚を保護する:

- ・ 仕事に必要な最低の音量で使用してください。
- ・ 周囲が騒がしい場合にのみ音量を上げてください。
- ・ ヘッドセットやイヤピースを追加する前に音量を下げてください。
- ・ ヘッドセットやイヤピースを大音量で使用する時間を制限してください。

- ・ヘッドセットやイヤピースなしでラジオを使用する場合は、ラジオのスピーカーを耳に直接当てないでください。
- ・イヤホンの使用には注意してください。イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧により、聴力が低下する可能性があります。

注意： いかなる音源からの大きな音にも長時間さらされると、一時的または永久的に聴力に影響が出る可能性があります。ラジオの音量が大きいほど、聴力が影響を受けるまでの時間は短くなります。

大きな騒音による聴覚障害は、最初は検知できない場合があります、累積的な影響を及ぼす可能性があります。

承認されたアクセサリ

- ・この無線機は、製品に付属または指定された Reteless アクセサリと併用すると、RF 曝露ガイドラインに適合します。他のアクセサリを使用すると、RF 曝露ガイドラインに準拠していない可能性があります、規制に違反する可能性があります。
- ・お使いの無線機モデル用の Reteless 承認アクセサリのリストについては、次の Web サイトをご覧ください：<https://reteless.jp>

充電電力の説明

最大充電速度を達成するには、充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小 1.03 ワットから最大 1.13 ワットの間でなければなりません。

アダプタのプラグは切断装置とみなされます。コンセントは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。

- ・充電する前に無線機器の電源をオフにしてください。
- ・バッテリーは指定された 10℃～40℃の環境温度で充電してください。環境温度が 0℃未満の場合は充電しないでください。
- ・充電式バッテリーは、初めて使用する前に、機器ごとに用意された専用充電器で充電する必要があります。

- 充電式バッテリーは、成人のみが充電してください。

電磁干渉/互換性

ほぼすべての電子機器は、電磁両立性のために適切にシールド、設計、またはその他の構成が行われていない場合、電磁干渉（EMI）の影響を受けます。

送信中、無線は RF エネルギーを生成し、他のデバイスやシステムに干渉する可能性があります。このような干渉を避けるため、病院や医療施設など、無線をオフにするようにという標識が掲示されている場所では、無線をオフにしてください。